

運営委員氏名(瀬川 由美子)

研究テーマ	各教科等の資質・能力の育成を目指した学習評価の充実(1年次/2年計画) ー 目標設定から学習評価までを見通して作成する単元シートの活用をととして ー
研究目標	学習指導要領において示された各教科等の育成を目指す資質・能力を踏まえ、教員間で協働して授業実践と学習評価の充実を図る。
研究内容 方法 研究計画等	<p>1 研究の内容と方法</p> <p>(1) 授業研究(各学部)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教員一人一人が「単元シート」を活用した授業実践に参加する。 ・教員一人一人が一単位時間の流れを記載した「授業シート」の作成に参加し、学部内の授業実践を共有する。 ・各学部において、単元シートを活用した研究授業(事前検討会、事後検討会を含む)を行う。 <p>(2) 校内研修・調査分析・環境整備(研究部)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研究内容の理解や単元シートの活用に関する校内研修を行う。また、学部研究の取組をまとめてポスター発表を行い、全体で共有できるようにする。 ・教員対象の意識調査(事前、事後)を行い、結果を分析・考察する。 ・校務システムを活用して、授業実践の資料や計画を共有する。 ・研究通信を発行し、校内研究に関する様々な情報や各学部の取組などを共有することで、教員一人一人が校内研究に参画する雰囲気を醸成する。 ・職員用掲示板や研究資料保存用の本棚を整理・活用し、校内研究に関する情報を共有する。
研究の概要 ・研究成果等	<p>1 成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ○単元や題材の指導に当たる全ての教員が単元シートを活用した授業実践を行うことができた。また、実践した上で感じた単元シートの効果や疑問点などを、研究授業の検討会及び研究通信やポスター発表などとおして共有することができた。 ○校務システムを活用して日々の実践を共有したり、研究通信や職員掲示板を活用して研究関連の情報を共有したりしたことで、日常的に研究テーマを意識して実践する機会が増え、研究の推進につながった。 ○多くの教員が単元シートの効果を感じており、各教科等の育成を目指す資質・能力を踏まえて実践する意識が高まったことが、意識調査などから分かった。学校の教育目標の具現化に向けて校内研究を進めることができた。 ○学部をこえて参観する機会を設けたり、放課後にビデオを視聴する時間を設定したりすることでより多くの教員で授業を共有することができた。 <p>2 課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ●単元シートを作成することに負担を感じている教員がいることが課題である。負担を軽減する単元シートの様式や活用方法を検討したい。また、教育課程の改善や個別の指導計画の活用など、単元シートの汎用性を高める方法を検討したい。 ●各教科等の育成を目指す資質・能力について理解を深めていくことが課題である。研究授業で検討することで資質・能力について理解を深めることができた一方で、日々の実践において、資質・能力の捉え方を十分に共有できないことがあった。単元シートをより効果的に活用することで、学習指導要領で示された資質・能力についての理解を深めていきたい。